

令和6年度第3回 唐津市総合教育会議 結果概要

1 日時

令和7年2月20日（木） 16：00～16：45

2 場所

唐津市役所 本庁舎3階 災害対策本部室

3 出席者

峰市長、栗原教育長、篠原教育委員、石山教育委員、佐伯教育委員

4 事務局

〔政策部〕草野部長、森副部長、古賀係長、脇山副主査

〔教育委員会事務局〕中山部長、牟田副部長（教育企画課長）、白水副部長（近代図書館長）、森教育総務課長、栗本学校教育課長、古場学校支援課長、岡田学校給食課長、岩尾生涯学習文化財課長、阿部係長、竹下係長

5 議題

第3期唐津市教育大綱の策定について

6 概要

第3期唐津市教育大綱について、政策部及び教育委員会事務局より説明を行った。

意見等は次のとおり。

（石山委員）

社会教育に係る基本方針「郷土愛を育み 心豊かな 人づくり」のなかに、「国際交流を含む体験活動によるグローバル人材の育成」とあるが、なにか唐津市として施策はあるか。

（教育委員会事務局）

国際交流体験活動のメニューの中で、たくましいからつつ子育成事業を行っ

ている。そのなかに海外研修もメニューとして入れていたが、コロナ禍以降、民間団体の利用がなかった。今後も引き続き実施していくこととしており、来年度の地域交流部予算において、友好姉妹都市交流費として、韓国の西帰浦市にある国立の英語研修施設へ市内中学生5名を派遣し、研修費全額、交通費2分の1を補助することをお願いしている。地域交流部の予算ではあるものの、教育委員会としても人選等一緒に行っていきたいと考えている。

(石山委員)

先日、英検3級相当以上の英語力を持っている中学生の割合が佐賀県は全国最低の30.1%となっており、来年度から3年間、中学3年生の英検受験料1回分を全額補助すると報道があった。ありがたいことに唐津市がモデル地域に指定された。どのように受け止めているか。

(教育委員会事務局)

実はこの話がある前に、唐津市でも検討しており、予算等も含めた具体的なところまで進めていたところに、佐賀県より声がかかり、大変ありがたく受け止めている。さらにもう一步唐津市において独自になにかできないか検討している。

(峰市長)

上峰町のようにオンラインで外国人とネイティブな英語を使って交流をするといったことにも踏み出していく時期ではないか。検定は受験するが、合格できないという結果がでてしまってはよくない。できる限り何%を目指すと目標を立てて取り組んでもらえるとありがたい。

(教育委員会事務局)

佐賀県では、今のところ50%を目標と掲げているため、頑張っていきたい。

(石山委員)

第3次唐津市総合計画案では、生徒の英語力の向上について目標値が設定されている。検定は全員受験することとなっているか。

(教育委員会事務局)

中学3年生全員受験が原則となっている。

(石山委員)

検定は年に3回あると思うが、中学3年生となると調査票に記載できる時期がいいのではないかと思う。

(教育委員会事務局)

3回のうち、10月に行われる2回目を想定しており、学校で受験することを想定している。

(石山委員)

通常検定料は6,900円なので、保護者としてはすごくありがたい。

先日から人権擁護委員も引き受けており、権利という言葉に敏感になっている。全員に受験と補助を受ける権利があり、こどもたちが受験してよかったと思えるように意味のあるものになることを望んでいる。

(栗原教育長)

石山委員からお尋ねがあった件について、県と打ち合わせをしたばかりのところ。こどもたちにとって3級は、かなり難しい。その目指すところに向かって授業の改善や英語への興味関心を高める取組といったことを含め、英語力の向上に努めていきたい。この機会を有効に使い、各家庭や各学校と連携し進めていきたい。今深掘りして計画を立てようとしている。

(峰市長)

3年間の事業期間となっているが、それで終わらせてはいけない。唐津市の教育を見直すのであれば、こういった大綱まで作らせていただき、新たにチャレンジしていくにあたっては、応援していくような体制づくりが必要。これをきっかけとしてスタートする。とても大事なことだと思うので、腹を括って頑張っていたきたい。

(篠原委員)

これまで英語の授業を見ていて気になっていたのは、以前は中学生から英語教育がスタートした際に中学1年生の2学期3学期になると英語嫌いの子が非常に増えてきていた実態があったこと。今は小学3年生からスタートしているが、やはりいかに若年時から英語に興味関心、国際社会に目を向けることも含め、そういった土壌を作っていくことが重要。社会教育、幼児教育で関心を持たせるような必要があると思っている。難しいことではあるが、1人でも多くそういう気持ちを持たせて検定に臨んでもらえるようにしていけたらいいのではないかと思う。

(佐伯委員)

この資料と大綱案を見せていただき、非常に見やすくなったと思う。保護者の立場としてこれを見たときに、現行の教育大綱と比べ、唐津市のことがたくさん載っており、非常にいいものができたと感じている。表紙にも唐津の緑色と青色が使われている。ただ、中のページに緑色がないのはなぜかなと少し思ったところではあるが、見やすくしてあるのだろうと理解しているところ。写真についても各地域のよいところが載っていると思うし、この大綱を見た方が唐津市のことをもっと愛してくれればよいなと思う。非常にいいものができたと思う。

(峰市長)

表紙の写真に肥前名護屋城跡の写真が使われているが、唐津城ではない理由はなにかと聞かれるのではないかな。

(政策部)

ある程度各地域満遍なく掲載したいと考えており、特徴的なものを選んでみてはどうかと事務局で考え、この写真としている。

(篠原委員)

さきほど佐伯委員からの話にもあったが、パッと見て非常に見やすい印象。本当にいいものができたと思っている。実際に配布する際は、この A3 見開きとする予定かな。

(政策部)

配布物として用意するときには、この大きさを考えている。データ版では、画面上でみることができるため縮尺を任意に設定できるが、紙でもし配布する場合は、この A3 見開き中折で考えている。

(篠原委員)

この大きさだとかなり見やすいと思う。基本方針のねらいの部分については、若干フォントを太目にしてもらった方が、年配の方には見やすいかなと思う。

(政策部)

太字にするか、フォントを変えるか、なるべく見やすくなるよう調整をさせていただきたい。

(峰市長)

表紙の写真と見開きの中ページの写真の分野が重複しているように感じる。

(政策部)

写真についても、政策部と教育委員会で再度検討したいと思う。

(篠原委員)

社会教育・生涯学習分野の基本方針「郷土愛を育み 心豊かな 人づくり」について、郷土愛が全面に出ていて非常に良いと思う。このねらいに記載されている「史跡や歴史的建造物などの保護・整備と活用」の活用とは具体的にどういったことを考えてあるのか。

(教育委員会事務局)

史跡や歴史的建造物について、保護・整備を行い、後世に伝えていくことが非常に大切なことだと考えている。同時にたくさんの人に知ってもらい、価値を理解してもらうことも大切なこと。文化庁でも文化財や史跡の活用は重点項目として推進されているところ。本市としても、今年度においては、唐津城の発掘調査での成果を紹介する展示やシンポジウムを開催した。また、唐津城の発掘調査を担当した者が、唐津城を紹介するというような、多くの人に知ってもらえるような活動をやってきた。その他にも末盧館を利用し、展示等の紹介も行っているところ。

(篠原委員)

文化財の保護と同時に市民や全国各地から唐津に訪れた人々に対して、今説明にあったような展示や専門家の説明によって、唐津にはこんなに素晴らしいものがあると紹介していくのは有効だと思う。活発に活動をお願いしたい。

(栗原教育長)

唐津城の整備を 10 数年かけてやってきたが、その調査のまとめをつい先日まで末盧館で展示していた。共同通信がそのことを取り上げ、全国の新聞各社でその情報を取り上げてもらった。そのうち 1 社は、第一面に大きく取り上げ

てもらった。私たちが保存整備したこと、そしてそれを公開していくことが、活用に繋がったり、訪れてくれる人に繋がったりすることが非常にうれしく思う。

(峰市長)

フォントサイズへの意見等があったが、全体的には皆さんからの承認がいただけたかと思っている。先ほど事務局より説明があったスケジュールのとおり、今後策定に向けて進めていくこととする。

(峰市長)

議題とは違う話にはなるが、来年度予算で、特別教室の空調設置を予定している。令和9年度には、すべての小中学校で完備させるということで、今回当初予算を発表したところ。あとは体育館への設置となるが、国の事業では、空調効率がよい体育館、密閉度の高い体育館が対象となっている。本市では、密閉度の高い体育館は天徳の丘運動公園社会体育館だけとなっている。今後なんとか本市でも設置ができるようやっていきたいと検討している。

以下余白